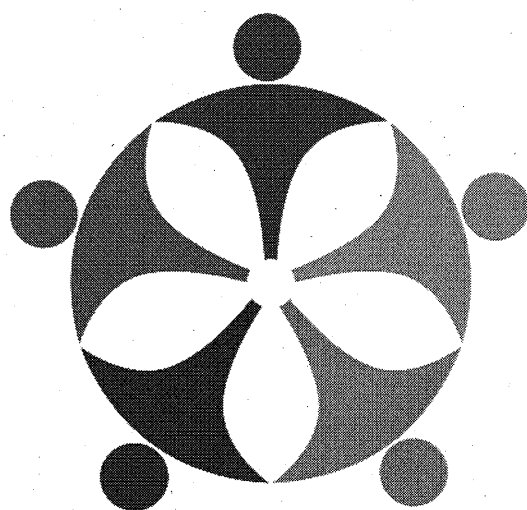


令和2年度
高浜市当初予算の概要



ちょうどいいまち
ちょっといいまち
これまでもこれからも
2020高浜市50th

高浜市総務部財務グループ

目 次

1	基本的な考え方	1
2	予算規模	2
3	歳入の状況（一般会計）	3
4	歳出の状況（一般会計）	5
5	市債の状況（借入・返済額と現在高）	7
6	基金（貯金）の状況	9

巻末資料

(1)	広報たかはま（4月1日号） 「令和2年度当初予算の概要」	13
(2)	主要・新規事業一覧	14

1 基本的な考え方

本市は、令和2年度（2020年度）に市制施行50周年の大きな節目を迎えます。

財政状況においては、安定した経常一般財源の収入確保が期待できない中、経常経費は依然として高止まりを続けるとともに、喫緊かつ最重要課題である公共施設の更新等に対しては、引き続き財政措置が必要です。加えて、会計年度任用職員制度の導入による財政負担の発生など、これまでになく厳しい状況となっています。そこで、令和2年度の予算編成方針を「新たな50年を切り拓く予算」とし、財源確保に万全を期すとともに、未来に向けた不断の取組みを決して止めることなく、中長期的な視点に立って予算編成に取り組むこととしました。

（1）計画的な事業見直しを前提とした集約化・縮減の視点

計画的な事業見直しを前提とした集約化・縮減の視点を持ち、事業の内容・手法等の再検証に取り組んだうえで予算計上を実施する。

（2）経常一般財源に着目した積極的な財政対策

国県支出金を始めとする特定財源の確保に万全を期すとともに、経常一般財源の削減に努めるなど、積極的な財政対策に取り組む。

（3）重点取組事業への財源配分

サマーレビューの結果等を踏まえ、重点取組事業に優先的に予算の配分を行う。

○重点取組事項

令和2年度予算編成は、第6次高浜市総合計画の推進を踏まえ、以下、5の事業を重点取組事業と位置づけました。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| (1) 公共施設総合管理計画の推進につながる事業 | (2) 情報発信の強化につながる事業 |
| (3) 教育環境の向上につながる事業 | (4) ICT教育につながる事業 |
| (5) 防災力の強化につながる事業 | |

○予算編成過程

8月	サマーレビューの実施
9月	第1回予算編成会議の開催、予算編成方針の公表
10月～11月	1次査定
12月	第2回予算編成会議の開催、2次査定
1月	当初予算（案）の確定
2月	第3回予算編成会議の開催、当初予算（案）の議会上程

2 予算規模

●一般会計予算規模 過去最高額（これまでの最高額 平成30年度：166億6,200万円）

【歳入】◆市税 収入が過去最高額を更新しました。（88億5,825万円、前年度比2,189万円）

◆市債 高浜小学校等整備事業第2・3期工事に伴い、発行額が増加（前年度比+15億3,310万円）

【歳出】◆令和2年12月1日に市制施行50周年を迎えるにあたり、各種記念事業を実施します。

◆高浜小学校等整備費や吉浜・高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料などを計上し、公共施設総合管理計画を着実に推進します。

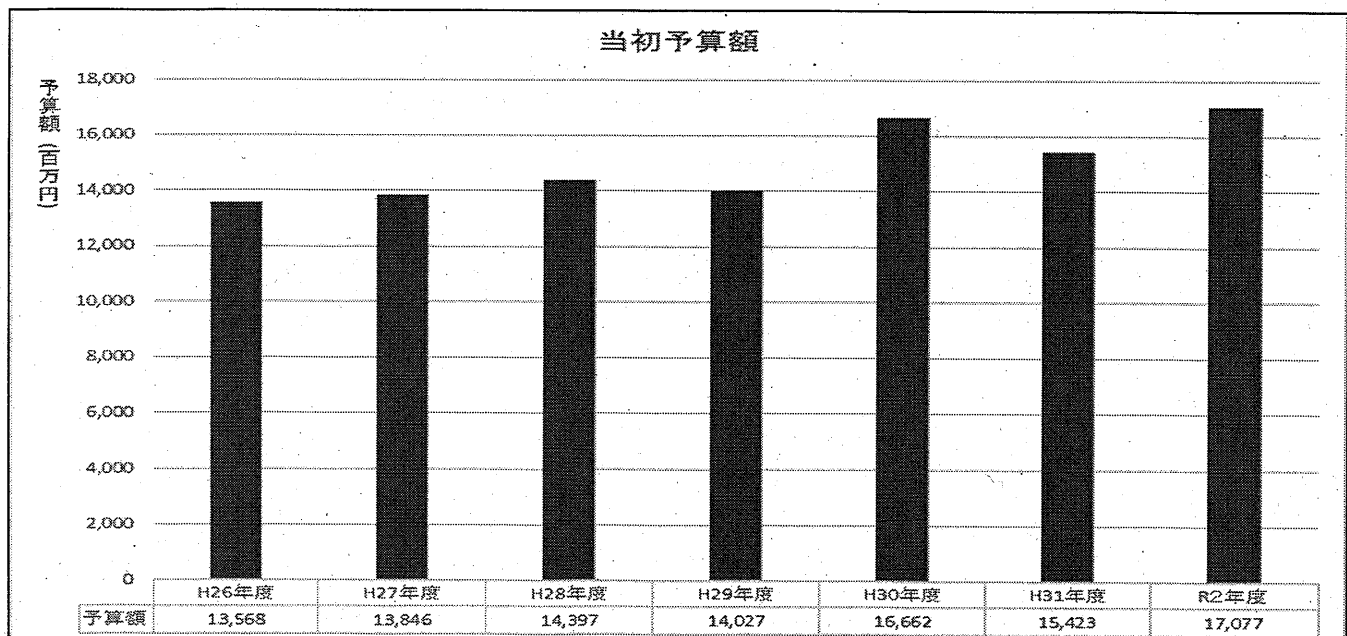
●特別会計を含む全会計の予算総額は、270億25万円で、前年度比+21億6,292万円、8.5%増加。

(1) 全会計（当初予算）予算規模の比較

（単位：千円）

会 計 名		令和2年度	令和元年度	増(▲)減	増減率 (%)
一 般 会 計		17,077,000	15,423,000	1,654,000	10.7
特 別 会 計	国民健康保険事業	3,277,947	3,227,900	50,047	1.6
	土地取得費	36,906	41,653	▲4,747	▲11.4
	公共駐車場事業	42,598	34,850	7,748	22.2
	介護保険	2,827,849	2,672,338	155,511	5.8
	後期高齢者医療	553,117	502,767	50,350	10.0
	小 計	6,738,417	6,479,508	258,909	4.0
水道事業会計		1,300,194	1,288,427	11,767	0.9
下水道事業会計		2,484,639	2,246,399	238,240	10.6
合 計		27,600,250	25,437,334	2,162,916	8.5

(2) 予算規模（一般会計）の推移



3 歳入の状況（一般会計）

「市税」は、個人市民税では、税額控除の増加などがあるものの、納税義務者数の増加見込みにより＋0.5%の微増を見込んでいます。法人市民税では、鉄工関係などにおける法人税割の減額により、▲1億5,067万円、▲21.2%の大幅減を見込んでいます。また、固定資産税では、家屋及び償却資産の増加を見込み、市税合計では、前年度の過去最高額を更新する88億5,825万円で、前年度比＋2,189万円、0.2%増を見込んでいます。

「法人事業税交付金」は、新たに交付されるため、6,800万円（皆増）を見込むとともに、「地方消費税交付金」は、令和元年10月からの消費税率引き上げに伴い、前年度比＋1億6,600万円、19.7%増を見込んでいます。

「国庫支出金」は、幼児教育・保育の無償化及びたかはまこども園（仮称）の令和2年4月開園予定に伴う子どものための教育・保育給付費負担金等の増加により、前年度比＋4億34万円、21.4%増を見込みます。また、「県支出金」も、国庫支出金と同様の理由により、前年度比＋1億3,162万円、12.8%増を見込んでいます。

「繰入金」は、前年度比▲2億1,245万円、▲24.0%の減、「市債」は、高浜小学校等整備事業2期及び3期工事等に伴い、前年度比＋10億8,240万円、240.2%の大幅増を見込んでいます。

(1) 一般会計（当初予算）歳入状況の比較

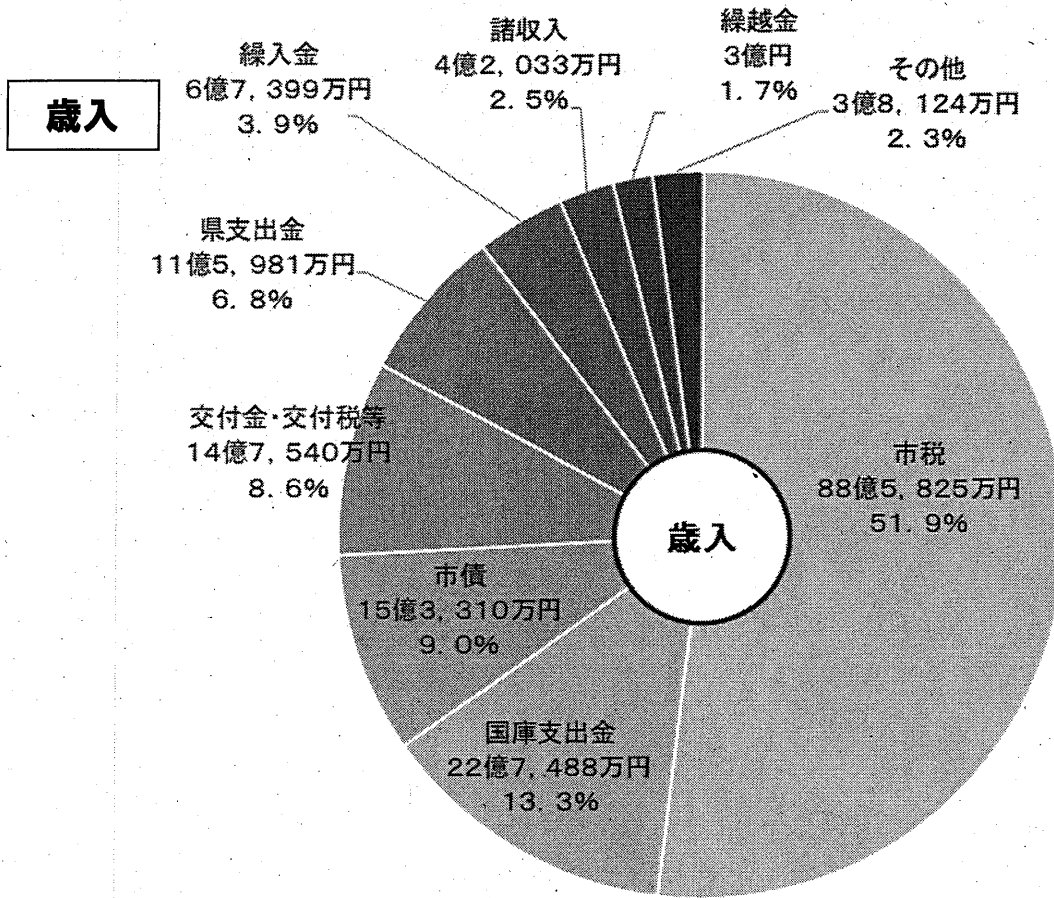
（単位：千円）

区分	令和2年度	構成比(%)	令和元年度	構成比(%)	増(▲)減	増減率(%)
市税	8,858,250	51.9	8,836,360	57.3	21,890	0.2
地方交付税	100,000	0.6	100,000	0.6	0	0.0
国庫支出金	2,274,882	13.3	1,874,547	12.2	400,335	21.4
県支出金	1,159,812	6.8	1,028,195	6.7	131,617	12.8
繰入金	673,988	3.9	886,439	5.7	▲212,451	▲24.0
市債	1,533,100	9.0	450,700	2.9	1,082,400	240.2
その他	2,476,968	14.5	2,246,759	14.6	230,209	10.2
合計	17,077,000	100.0	15,423,000	100.0	1,654,000	10.7

(2) 市税の内訳

（単位：千円）

税目	令和2年度	令和元年度	増(▲)減	増減率(%)
市民税	3,625,941	3,760,426	▲134,485	▲3.6
うち個人市民税	3,066,900	3,050,715	16,185	0.5
うち法人市民税	559,041	709,711	▲150,670	▲21.2
固定資産税	3,994,701	3,874,750	119,951	3.1
軽自動車税	124,843	114,137	10,706	9.4
市たばこ税	332,057	322,319	9,738	3.0
都市計画税	780,708	764,728	15,980	2.1
合計	8,858,250	8,836,360	21,890	0.2



コラム 市によって納める税金（市税）に差があるの？

「高浜市の税金は他の市より高いんじゃない？」…という声を聞くことがあります。はたして違いがあるのでしょうか？市に納められた税金で金額が大きいものは、①市民税 ②固定資産税 の2種類があり、この2種類について紹介します。

①市民税（所得割）

税額の算出方法： $\{ (\text{所得金額} - \text{所得控除額}) \times \text{税率} \} - \text{税額控除額}$

ポイントは「税率」ですが、「税率」は一般的には「標準税率」というものがあり、西三河地方の各市と同様に高浜市もその税率を使っています。したがって、市民税が高いということはありません。

市町村	税率
高浜市	標準税率
西三河各市	標準税率

②固定資産税

税額の算出方法：土地や家屋などの固定資産税課税標準額 × 税率

土地や家屋などの資産評価の基準は法律で決まっています、高浜市も基準に沿って評価していますので課税標準額は変わりません。「税率」についても全国の多くの自治体と同様に「1.4%」となっています。したがって、固定資産税が高いということはありません。

市町村	税率
高浜市	1.4
全国	1.4

(※一部超過課税を実施している自治体もあります)

4 歳出の状況（一般会計）

「総務費」は、市制施行50周年記念事業、ふるさと応援事業支援業務委託料、防災マップ作成業務委託料等の増加により、前年度比+6,716万円、4.1%増となっています。

「民生費」は、養護老人ホーム高浜安立施設整備費補助金等の減額があるものの、施設型給付費（認定こども園）、生活保護費、障害福祉サービス等給付費及び障害児給付費等の増加により、前年度比+2億2,451万円、3.5%増となっています。

「労働費」は、移住定住就業支援事業補助金等の増加により、前年度比+99万円、157.1%増となっており、「農林水産業費」は、服部新田排水機場ポンプ設備更新工事等により、前年度比+1億178万円、183.1%増となっています。

「商工費」は、企業再投資促進補助金、企業誘致等に関する奨励金等により、前年度比+5,357万円、23.4%増となっています。

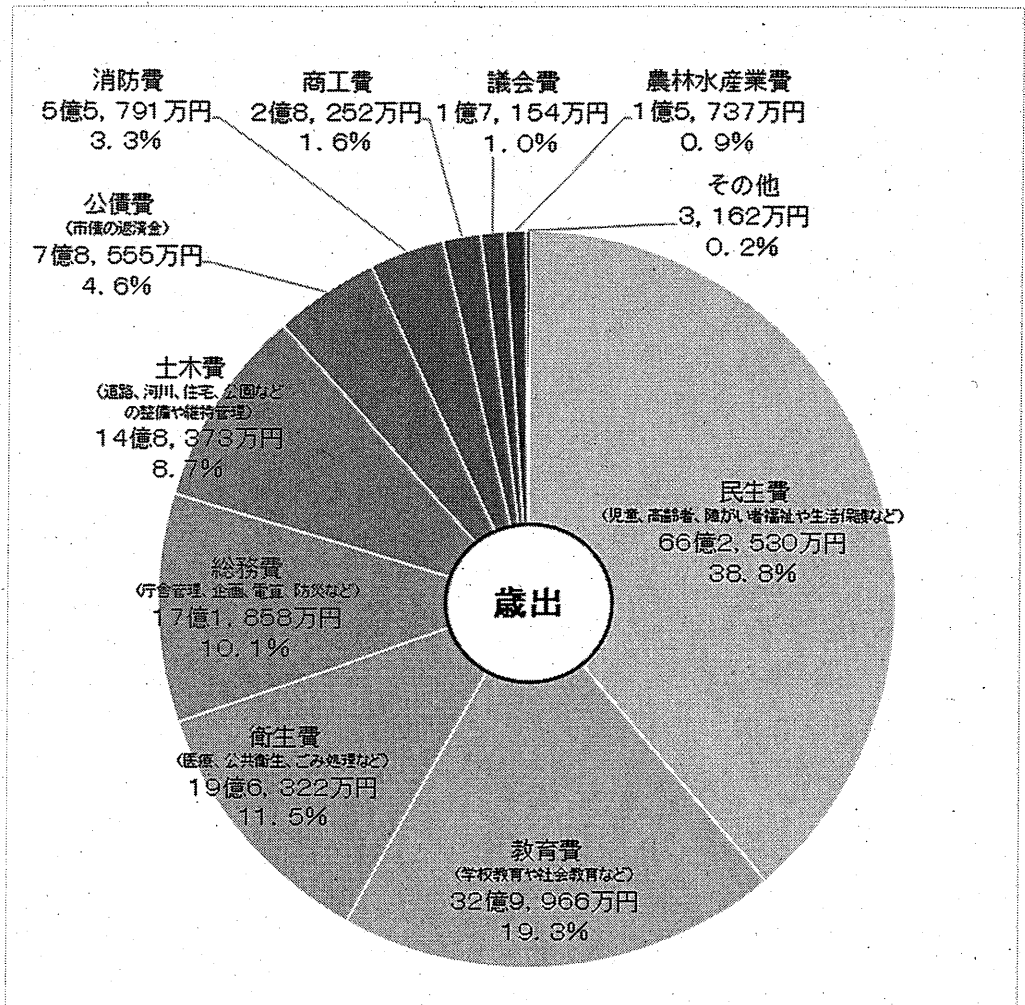
「土木費」は、下水道事業会計補助金の減額があるものの、東海住宅排管修繕工事費、湯山住宅屋上防水修繕工事費及び耐震改修促進計画策定業務委託料等により、前年度比+7,211万円、5.1%増となっています。

「教育費」は、勤労青少年ホーム跡地発生土等運搬処理費等負担金及び高浜中学校音楽室増築工事費等の減額があるものの、高浜小学校等整備事業2期及び3期工事に伴う高浜小学校等整備費の大幅な増加等により、前年度比+11億536万円、50.4%増となっています。

（単位：千円、％）

科 目	令和2年度		令和元年度		増 減	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増(▲)減	増減率
議 会 費	171,536	1.0	163,412	1.1	8,124	5.0
総 務 費	1,718,584	10.1	1,651,420	10.7	67,164	4.1
民 生 費	6,625,297	38.8	6,400,789	41.5	224,508	3.5
衛 生 費	1,963,217	11.5	1,953,038	12.7	10,179	0.5
労 働 費	1,620	0.0	630	0.0	990	157.1
農林水産業費	157,373	0.9	55,595	0.4	101,778	183.1
商 工 費	282,516	1.6	228,947	1.5	53,569	23.4
土 木 費	1,483,735	8.7	1,411,630	9.1	72,105	5.1
消 防 費	557,909	3.3	538,963	3.5	18,946	3.5
教 育 費	3,299,660	19.3	2,194,303	14.2	1,105,357	50.4
災害復旧費	4	0.0	4	0.0	0	0.0
公 債 費	785,548	4.6	794,268	5.1	▲8,720	▲1.1
諸 支 出 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
予 備 費	30,000	0.2	30,000	0.2	0	0.0
合 計	17,077,000	100.0	15,423,000	100.0	1,654,000	10.7

歳出



用語解説

議会費

議員の報酬や議会事務局の person 費、議会運営などにかかる経費

総務費

市庁舎の管理、市民協働、戸籍住民基本台帳などにかかる経費

民生費

児童、高齢者、障がい者などの福祉にかかる経費

衛生費

ごみ処理、医療、保健衛生などにかかる経費

労働費

労働者の福祉向上や就労支援などにかかる経費

農林水産業費

農業の振興、技術の普及などにかかる経費

商工費

商工業の振興、技術の普及や観光などにかかる経費

土木費

道路・河川・公園などの整備や維持管理にかかる経費

消防費

消防団活動や広域消防にかかる経費

教育費

幼・小中学校、生涯学習などにかかる経費

公債費

市の借金の返済にかかる経費

予備費

緊急に支出を必要とする場合に備えて用意している経費

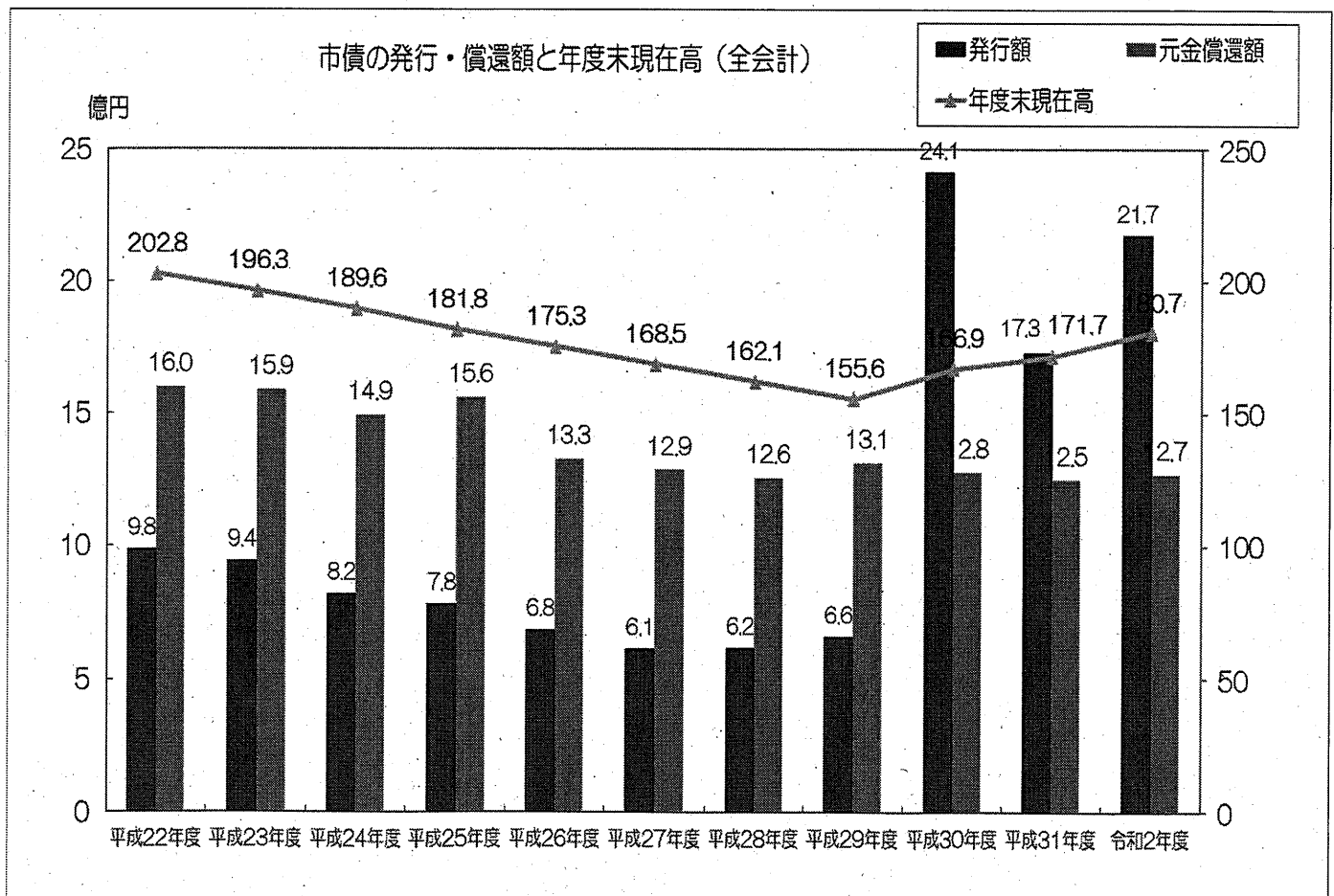
5 市債の状況（借入・返済額と現在高）

市債残高の推移

（単位：千円）

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般会計	普通債	2,482,087	2,464,546	3,868,705	4,903,748	6,194,061
	臨時財政対策債等	5,314,952	4,842,469	4,676,798	4,203,317	3,732,458
	小計	7,797,039	7,307,015	8,545,503	9,107,065	9,926,519
特別会計 企業会計	下水道事業会計	7,675,598	7,535,856	7,463,565	7,410,682	7,526,178
	水道事業会計	739,540	712,392	681,904	649,347	614,571
合計		16,212,177	15,555,263	16,690,972	17,167,094	18,067,268

備考 市債残高は、平成28年度から平成30年度までは決算額、令和元年度及び令和2年度は見込額を示す。



Q.

市債（借金）はどれくらいあるの？



高浜市の借金が心配ね。現在、どういう状況なのかしら？

長期的に見通しを立て、計画的に借りたい、返したいして、将来に備えています。



解説

Q. なぜ、市債を発行する（借金をする）の？

A. 公共施設の建設など、いわゆる社会資本の整備には、一度に多額の経費がかかります。その経費を調達するために市債を発行します。市債には主に、次の2つの考え方があります。

①現役世代だけではなく、将来世代においても、整備された社会資本を利用しますので、税負担の公平性の観点から、将来世代にもその財政負担の一部をお願いするというもの。

②社会資本の整備に当たり、整備年度において、一括して財源を負担することは、当該年度の財政運営に支障を及ぼす恐れがあり、適切ではないため、負担の平準化を図るというもの。

Q. 市債（借金）残高はこれまでどうだったの？これから先はどうなるの？

A. 平成13年度には、市債残高は255億円ありましたが、平成29年度までは市債の残高は年々減ってきていました。これは、「かわら美術館」や「三河高浜駅付近」をはじめとする市街地の再開発などに借りたいお金の返済が終わってきているためです。また、これまでは投資的経費が低かったため、市債の発行が少なかったことも理由のひとつです。

しかし、平成30年度から「市債の発行額」は、増えてきています。令和2年度は、高浜小学校等整備事業の第2・3期工事を実施するため、発行額と残高見込みが大きく増えました。これからも老朽化した公共施設の改修が見込まれ、その財源として借入れをする予定です。その結果、令和2年度末の残高は181億円と見込んでおり、今後も市債残高は増えていくことが予想されます。

【参考】 地方債（市債）現在高／標準財政規模（％） 87.36％（37位／791市）

（全国都市財政年報 全国791都市・2018年度決算／日本経済新聞出版社）より

平成30年度末の本市の標準財政規模に対する地方債現在高の割合は、87.36％で、全国ランキング37位となりました。このことは、将来の財政負担が少ないことを意味しており、財政の弾力性を確保する要素となっています。

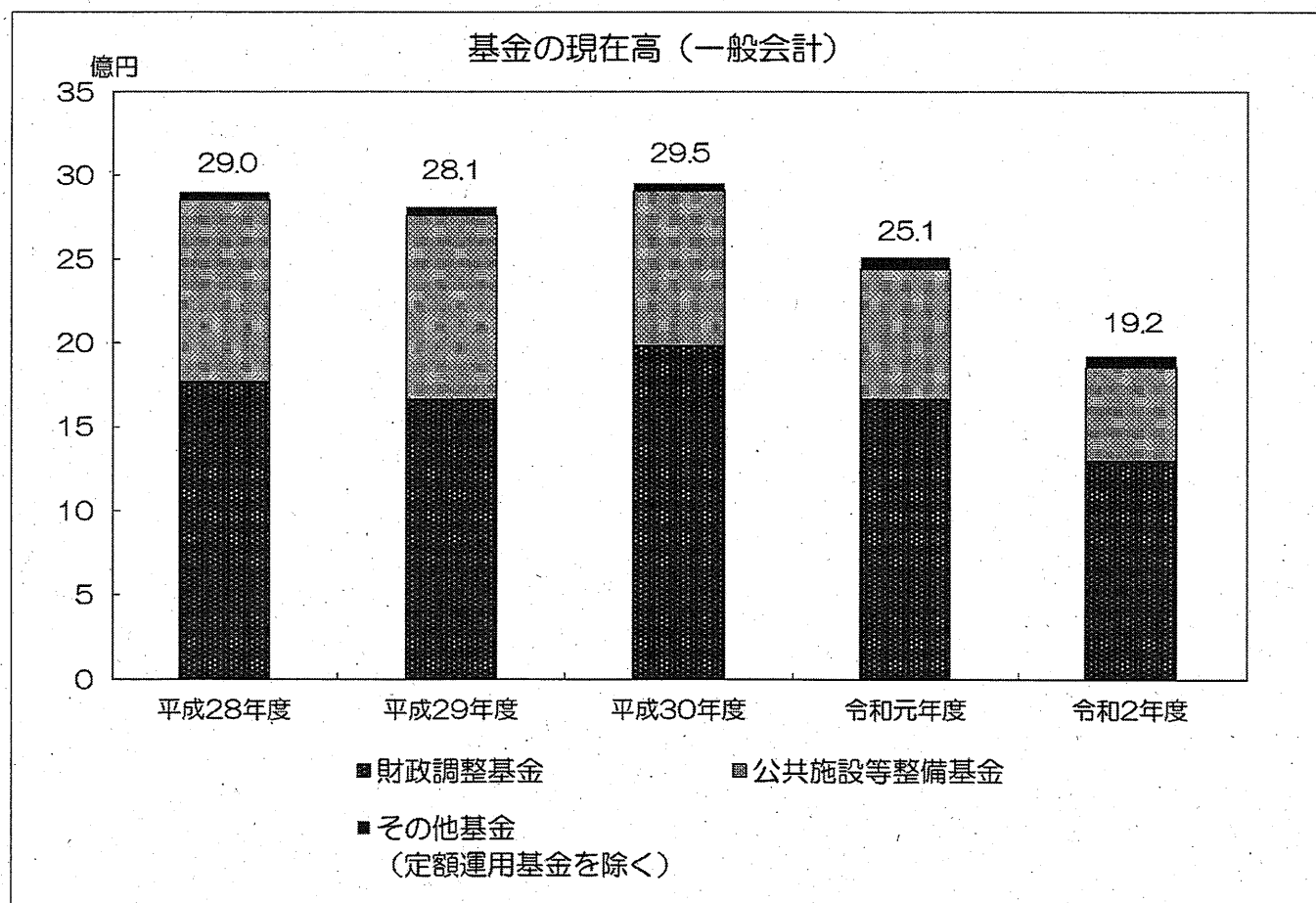
6 基金（貯金）の状況

基金年度末残高の推移

(単位：千円)

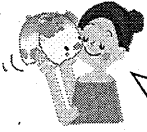
区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
財政調整基金	1,764,692	1,658,610	1,984,901	1,664,371	1,299,276
公共施設等整備基金	1,086,283	1,103,240	920,983	777,809	558,069
その他基金 (定額運用基金を除く)	46,680	48,759	46,953	65,904	64,674
合 計	2,897,655	2,810,609	2,952,837	2,508,084	1,922,019

備考 基金の年度末残高は、平成 28 年度から平成 30 年度までは決算額、令和元年度及び令和 2 年度は見込額を示す。



Q.

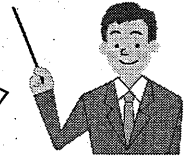
市の基金（貯金）はどれくらいあるの？



高浜市にも貯金があるわよね。

これからのためにちゃんと貯蓄できているのかしら??

実は貯金はあまり多くありません…。ですが、公共施設のためのお金を計画的に積み立て、使っていきます。



解説

Q. 基金（貯金）の状況は？

A. 高浜市には突然の不景気や大規模災害などに対応し、何の目的にも使える自由度の高い基金である「財政調整基金」や学校などの公共施設の整備に使うための「公共施設等整備基金」など 12 種類の基金があります。

リーマンショック前、「財政調整基金」残高は 20 億円を超えていましたが、リーマンショックの影響により毎年使うお金が市税などの収入では足りず、基金を崩した結果、平成 24 年度には 10 億円まで減少しました。令和 2 年度末の残高は 13 億円を見込んでいます。

Q. 公共施設整備の基金は？

A. 公共施設等の整備に必要な財源を確保するため、平成 21 年度に「公共施設等整備基金」を設置し、計画的な積み立てを行ってきました。このように積み立てしてきたお金を、学校の大規模改修を始めとする、公共施設の整備のために使う予定です。これからも計画的に積み立て、使っていきます。

【参考】基金（積立金）／標準財政規模（％） 32.17%（533 位／791 市）

（全国都市財政年報 全国 791 都市・2018 年度決算／日本経済新聞出版社）より

平成 30 年度末の本市の標準財政規模に対する基金現在高の割合は、32.17%で、全国ランキングは 533 位と、下位 1/3 レベルにあります。このことは、将来の財源不足への対応や大規模な災害が発生した場合の財政余力が乏しいことを示しています。

Q. これから先は？

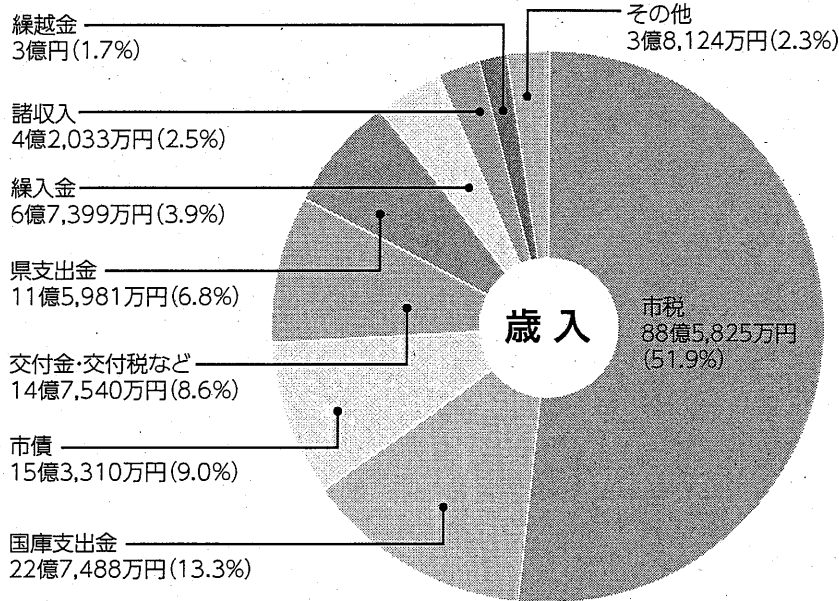
A. 財政運営の安定化を図るためには、財政調整基金の積み立てが必要です。

一般的に、財政調整基金残高の目安は、標準財政規模の 10%といわれ、本市では 10 億円となりますが、リーマンショックの影響で 10 億円減少したことを踏まえ、目標額を 20 億円と設定し、計画的に積み立てを行っていきます。

巻末資料

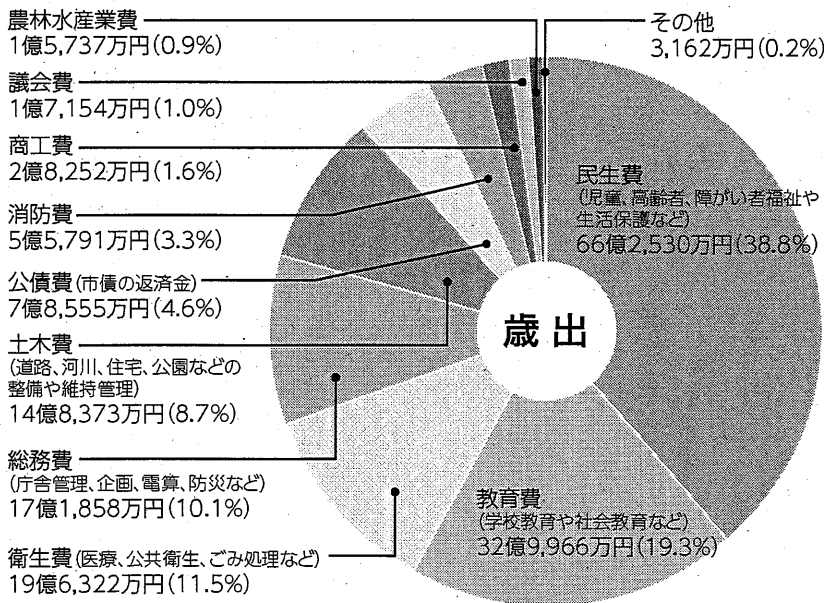
- (1) 広報たかはま（4月1日号）
「令和2年度当初予算の概要」
- (2) 主要・新規事業一覧

一般会計の歳入・歳出



主なもの

- 市税
 - ・固定資産税……39億9,470万円(前年度比 3.1%増)
 - ・個人市民税……30億6,690万円(前年度比 0.5%増)
- 市債(前年度比240.2%増)
 - ・高浜小学校等整備事業……12億2,630万円 など



主なもの

- 民生費
 - ・高齢者、障がい者福祉などに対する事業費(社会福祉費)……31億4,348万円
 - ・こどもの福祉などに対する事業費(児童福祉費)……31億2,619万円
- 教育費
 - ・小学校の維持管理などの事業費(小学校費)……20億5,293万円
- 衛生費
 - ・保健、予防接種などの事業費(保健衛生費)……9億6,513万円

令和2年度 当初予算の 概要

令和2年度の各会計予算が市議会3月定例会で可決されました。
新年度予算の概要をお知らせします。

問合せ先 困財務グループ
☎52-1111
(内線306・322)

当初予算 全会計総額

276億25万円
(前年度比8.5%増)

一般会計 ……………
170億7,700万円
(前年度比10.7%増)

特別会計 ……………
67億3,842万円
(前年度比4.0%増)

(内訳)
国民健康保険事業 32億7,795万円
土地取得費 3,690万円
公共駐車場事業 4,260万円
介護保険 28億2,785万円
後期高齢者医療 5億5,312万円

企業会計 ……………
37億8,483万円
(前年度比7.1%増)

(内訳)
水道事業 13億19万円
下水道事業 24億8,464万円

一般会計とは	一般会計とは、市の会計の基本となるもので、市税収入を主な財源として、福祉の充実や道路の整備など市の基本的な施策に要する経費を経理する会計です。
特別会計とは	特別会計とは、特定の事業を行う場合に、その特定の収入を特定の支出に充て、一般会計と別に経理する会計です。
企業会計とは	企業会計とは、独立採算による特定の事業を経理する会計です。

(2) 主要・新規事業一覧

NO	事業名	事業費	頁
1	議会運営事業 (ペーパーレス会議システム借上料等)	2,780 千円	15
2	広報広聴事業 (シティプロモーション支援業務委託)	2,189 千円	16
3	市制施行50周年記念事業	23,746 千円	17
4	総合行政推進事業 (総合計画策定支援業務委託等)	4,999 千円	21
5	防災活動事業 (防災マップ作成業務委託)	10,472 千円	22
6	生活困窮者自立支援事業 (アウトリーチ支援員)	2,999 千円	23
7	保育園管理運営事業 (施設型給付費)	389,869 千円	25
8	母子保健事業 (電子母子健康手帳アプリケーションシステム使用料)	550 千円	27
9	交通安全指導啓発事業 (高齢者後付安全運転支援装置設置費補助金)	2,160 千円	28
10	児童生徒健全育成事業 (スクールソーシャルワーカー謝礼)	2,406 千円	29
11	小学校維持管理事業 (高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託)	33,664 千円	31
12	小学校維持管理事業 (水泳指導等委託等)	5,687 千円	33
13	小学校維持管理事業 (吉浜小学校大規模改造事業実施設計等業務委託)	26,345 千円	35
14	小学校維持管理事業・中学校維持管理事業 (小・中学校トイレ改修工事設計業務委託)	18,238 千円	37
15	高浜小学校等整備事業 (高浜小学校等整備費(PFI事業)等)	1,522,439 千円	39
16	文化財保護事業 (市誌編さん業務委託等)	16,750 千円	41

主要・新規事業等

事業名等	議会運営事業 (ペーパーレス会議システム借上料等) <債務負担行為> 【新規】												
担当グループ	議会事務局議会グループ												
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう						個別目標	(2) 将来を見据えた 健全な財政運営を行います				
予算区分	会計	一般会計			款	01議会費		項	01議会費		目	01議会費	
	事業名	03議会運営事業											
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	議会改革の推進による議会の活性化を目的として、平成27年度の議会改革特別委員会で、議員から議会資料のIT電子データ化ができないかということから始まり、タブレット端末による電子データの持込の可否とルールづくり、資料等のペーパーレス化、議場内モニターの活用による議員側資料の投影による説明の可視化等、議員自らが近隣自治体等を調査・研究及び検討を続けてきた。当市でも部長会等での導入が決まっており、近隣では西尾市、安城市が導入済みで、各自治体も導入の動きが見られる。											
	目的(何のために)	当局のペーパーレス会議に連動して議会にタブレットを導入し、①議員への配付資料を紙から電子データ化し、議案書などもクラウドに置き、議員が、いつ、どこでも、過去の資料までもを目にすることができるようにする。②議員招集及び資料配付を紙からメールにする等、議会改革を推進し、議会及び議員活動の活性化を図る。											
	対象(誰・何を対象に)	全議員											
	事業内容(手段、手法など)	ペーパーレス会議システム及びグループウェアをセットアップしたタブレット端末を議員に配付し、議員及び職員操作研修の後、6月議会・9月議会の仮運用を経て12月議会からの運用開始を目指すもので、タブレット端末でグループウェアにより議会招集通知、議会スケジュール管理、資料配布を行う。また、ペーパーレス会議システムで、議員への予算書等を始めとした資料配布を紙資料からクラウド上に置くことで、議場でのペーパーレス会議を実現する。											
目指す成果(期待される効果)	ペーパーレス会議システムを導入することで、①配付資料のペーパーレス化が進められる。また、過去の予算書などの資料を常時保持できることにより、議会での質疑等に資する。②緊急の議員招集等、それらに伴う資料配布が容易になる。												
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)		
	当局が実施する①議員への議案、予算・決算書、各種計画書等の配付を紙からデータにすることでペーパーレス化に寄与する。②緊急の議員招集、それに伴う資料配付を容易にする。										令和2年12月		
令和2年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)									
	2,780千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	352				2,428
事業費積算内容	【歳入】・タブレット端末借上料議員負担金 352千円(2,000円×16人×11月) 【歳出】・ペーパーレス会議システム導入支援業務委託料 264千円 ・ペーパーレス会議システム借上料 908千円 ・メール管理システム導入支援業務委託料 148千円 ・メール管理システム借上料 197千円 ・議場無線LAN整備工事費 226千円 ・電算機器端末借上料 957千円 ・消耗品費 80千円 【債務負担行為】期間:令和3年度~令和5年度 限度額:2,175千円												
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ● 契約 ● 議場無線LAN整備工事 ● タブレット端末納入 ● システム等セットアップ ● 議員及び職員操作研修 ● ペーパーレス会議仮運用開始 <div style="text-align: right;"> 12月議会 ● ペーパーレス会議本運用開始 → </div>												
予算書及び予算説明書該当ページ	89・264ページ												

主要・新規事業等

事業名等	広報広聴事業（シティプロモーション支援業務委託）【新規】													
担当グループ	企画部総合政策グループ													
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう						個別目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります					
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	08広報広聴活動費	事業名: 01広報広聴事業					
アクションプラン	■該当する □該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	令和2年度は、高浜市市制50周年という本市の魅力在全国に発信するとともに、高浜市民に対しても高浜市の魅力や取組を発信することで、まちに対する愛着・誇りを育む絶好の機会である。												
	目的（何のために）	高浜市の持つ「人・食・文化・産業・情報」など多様な魅力を強化あるいは発掘し、効果的な情報発信を行うことで、高浜市の魅力に共感し「高浜市に訪れたい」「応援したい」人を増やし、ヒト・モノ・カネなどの資源を獲得するとともに、市民のまちへの愛着と誇りを育むためのシティプロモーション支援を行う。												
	対象（誰・何を対象に）	全国及び市民												
	事業内容（手段、手法など）	(1) インターネットやSNSを通じたプロモーション活動 (2) ふるさと納税の返礼品の選定・発掘・開発 (3) 各種メディア等とのリレーション業務 (4) 広告掲載業務												
目指す成果（期待される効果）	■地場産品の発掘・開発や高浜市の魅力在全国に発信することで、高浜市のファンが増え、ふるさと応援寄附金が増える。 ■高浜市の良さに気づき、郷土への誇りを感じ、愛着が高まる。													
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	■ふるさと応援寄附金の増 3,500万円（本業務による影響額） ■ふるさと応援寄附金の返礼品の増 24品（1月あたり2品の増）										令和3年3月			
令和2年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）										
	2,189千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			2,189			
事業費積算内容	・シティプロモーション支援業務委託料 2,189千円													
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	☆契約締結													
	・B1グランプリでチラシ配布 インターネットやSNSを通じたプロモーション活動、地場産品の発掘 ・広告、PR掲載													
予算書及び予算説明書該当ページ	99ページ													

主要・新規事業等

事業名等	市制施行50周年記念事業【新規】		
担当グループ	企画部総合政策グループ		
総合計画区分	基本目標： I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう	個別目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります
予算区分	会計： 一般会計	款： 02総務費	項： 01総務管理費 目： 12企画費 事業名： 12市制施行50周年記念事業
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		
事業の必要性・実施の背景	<p>高浜市市制50周年という大きな節目の年を、第6次高浜市総合計画（2011年～2021年）に掲げている将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を達成するために、行政のみによる形式的な事業実施ではなく、市民の皆さんと行政が手と手を取り合い一緒にあって企画・立案し、自ら実践することのできる事業を実施していく。</p>		
目的 (何のために)	<p>半世紀の時を経て、高浜市として次の50年を築き、100年を迎えていくための新たなスタートを切るため、これまでの50年間、高浜市を支えてきた先人たちの想いをこれからの50年を創っていく世代に伝えていくため。</p>		
対象 (誰・何を対象に)	市民		
事業概要	<p>記念事業と記録・PR事業を実施する。 【記念事業】 <高浜市市民会議50企画事業> 市制施行50周年を盛り上げるため、市民によって結成された「高浜市市民会議50」で計画、実行する50周年記念事業。(6事業) ①テーマソング事業 ②おたから探し事業 ③わくわくワーク事業 ④笑顔の写真展事業 ⑤鬼みちまつりで50thオリジナルの灯り事業 ⑥オリジナル食べ物づくり事業 <市民募集アイデア事業> 市制50周年を盛り上げるため、市民、団体、企業等より募集した市制施行50周年を記念する事業アイデアを実施する事業。(12事業) ①PR動画制作 ②かわら記念グッズ制作 ③インスタで新名所づくり ④高浜アーカイブス ⑤イルミネーション事業 ⑥高浜50年ありがとう ごみ拾い ⑦市民合唱による第9演奏で50周年を祝う ⑧オリンピック・パラリンピックパブリックビューイング ⑨かわらメダル制作 ⑩高浜市民記録に挑戦 ⑪天野浩名古屋大学教授基調講演 ⑫張濱記念コンサート 【記録・PR事業】 広報誌やインターネット、SNSなど、各種媒体を使った積極的な情報発信により、市全体の50周年を祝う機運を高める。また記念誌や記念動画を制作する。</p>		
目指す成果 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ■50周年記念事業を通じて、市民がこれまでの50年を振り返ることで、高浜市の良さに気づき、郷土への誇りを感じ、愛着が高まる。 ■高浜市の魅力を市内外に発信することができる。 ■50周年の取組に参加した市民が高浜市のことを考えるきっかけとなり、まちづくりの新たな担い手の発掘につながる。 		
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)		達成時期 (いつまでに)
	高浜市市民会議50メンバーから次期総合計画の策定に関わる人材を発掘する。		令和3年3月

令和2年度	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)										
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
	23,746千円				9,058	14,688						
事業費積算内容	◆報償費 562千円(◎講演等講師謝礼302千円 ◎市民合唱指導等謝礼160千円等) ◆消耗品費 573千円 ◆印刷製本費 2,067千円(記念誌、PR用ポスター、パンフレット、CDジャケット、地図等) ◆委託料 12,101千円(◎記念動画制作業務委託料3,869千円 ◎記念品制作業務委託料6,031千円 ◎記念演奏業務委託料1,100千円等) ◆使用料及び賃借料 8,443千円(◎公共施設等会場使用料174千円 ◎著作権使用料8,250千円等)											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	★12月1日 記念式典											
	◆テーマソング事業(高浜市市民会議50企画事業)											
	◆おたから探し事業(高浜市市民会議50企画事業)											
	◆わくわくワーク事業(7/25、26)											
	◆笑顔の写真展事業【5月～6月頃募集開始】						【展示・表彰】					
	◆鬼みちまつりでオリジナルの灯り事業(10/17)											
	◆オリジナル食べ物づくり事業											
	●PR動画制作						【秋頃放送】					
	●かわら記念グッズ制作						【完成】					
	●インスタで新名所づくり											
							●高浜アーカイブス(鬼みちまつり、式典)					
							●イルミネーション【12月～1月頃】					
							●高浜50年ありがとう ごみ拾い(秋の一斉清掃)					
							●市民合唱による第9演奏で50周年を祝う【高小アリーナこけらおとしで披露】					
							●オリンピック・パラリンピックビューイング(8月1日、30日)					
●かわらメダル制作【7月頃完成】												
						●高浜市民記録に挑戦						
						●天野浩名古屋大学教授基調講演						
						●張濱(チャンビン氏)記念コンサート(11/7)						
□ 記念誌、記念動画完成												
予算書及び予算説明書該当ページ	107ページ											

主要・新規事業等

事業名等	総合行政推進事業（総合計画策定支援業務委託等）【新規】											
担当グループ	企画部総合政策グループ											
総合計画区分	基本目標：I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう						個別目標：(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります					
予算区分	会計： 一般会計		款： 02総務費		項： 01総務管理費		目： 12企画費					
事業名	14総合行政推進事業											
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景 現行の第6次総合計画が令和3年度に満了を迎えることから、次期総合計画を策定する必要がある。											
	目的（何のために） 市民と行政がともに高浜市を作りあげていく「まちづくりの設計図」として、まちづくりの共通目標を掲げ、その実現に向けて必要な取り組み内容を盛り込んだ「高浜市の未来を描くまちづくりの設計図」として、第7次総合計画を策定するため。											
	対象（誰・何を対象に） 市全体											
	事業内容（手段、手法など） 令和元年度より庁内検討組織を立ち上げ、次期総合計画の策定のための市民会議（仮）や審議会の人選、指標の検討を始め、令和2年度に市民会議、審議会を行い総合計画案の検討を行うなど、市民と行政の協働により、計画案を作成する。											
目指す成果（期待される効果） 取り組むメニューを列挙するのではなく、地域課題（地域計画からエッセンスを取り込む）や未来予測を踏まえた、戦略的な計画を策定する。												
目標設定 （なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	第7次総合計画が策定される。										令和4年3月	
令和2年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	4,999 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			4,999		
事業費積算内容	◆総合計画策定支援業務委託料 3,605千円 ◆総合計画審議会委員報酬 404千円 ◆アドバイザー謝礼 795千円 ◆市民意識調査封入等業務委託料 50千円 ◆特別旅費 33千円 ◆消耗品費 62千円 ◆食糧費 50千円											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	(審議会) ☆審議会設置・開催											
	(市民会議) ☆市民会議キックオフ・開催											
	(策定プロジェクト) 人工知能活用による未来シミュレーション 概要・全体構想の検討 基本方針の検討・作成 構成・フォーマット・指標の検討 基本構想（素案）検討 ☆SDGs説明会 講演会☆											
	事業実施スケジュール											
予算書及び予算説明書該当ページ			107ページ									

主要・新規事業等

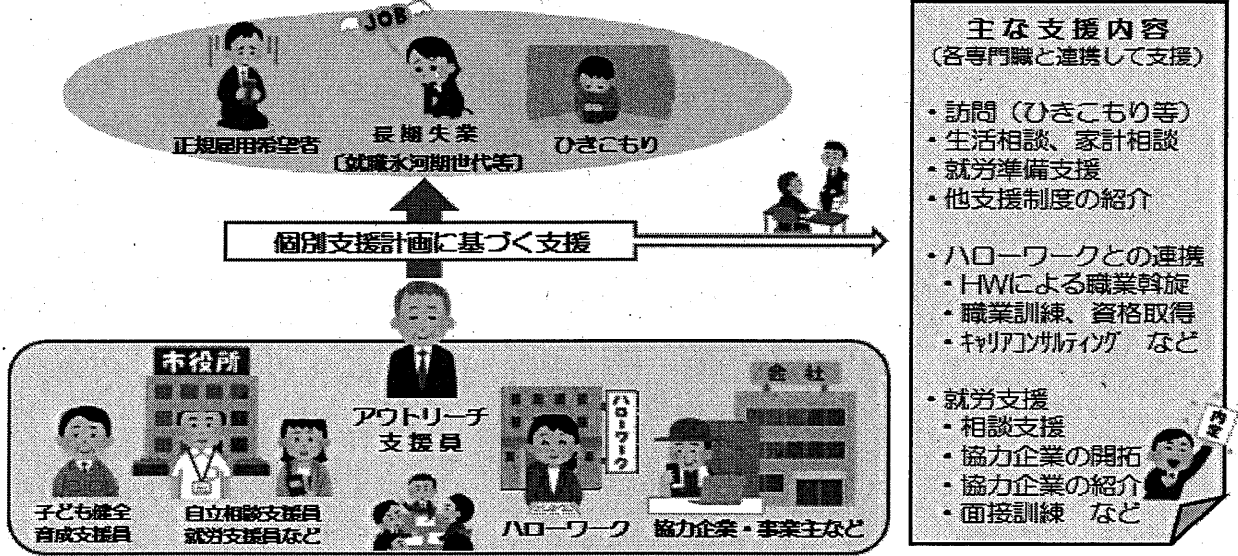
事業名等	防災活動事業（防災マップ作成業務委託）【新規】											
担当グループ	都市政策部防災防犯グループ											
総合計画区分	基本目標：Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう						個別目標：(9) 安全・安心が実感できる まちづくりを進めます					
予算区分	会計： 一般会計		款： 02 総務費		項： 01 総務管理費		目： 18 防災対策費					
事業名	01 防災活動事業											
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景 平成16年度の水害ハザードマップ、平成26年度の地震防災マップの作成後、新たな被害想定として、平成28年5月の「矢作川最大浸水想定」などが公表された。加えて、令和元年度には「稗田川浸水想定」が公表される予定である。 近年の災害の大型化などを踏まえ、最新のマップを作成し市民等への周知と活用を図り、災害に対する意識を高めてもらう必要がある。											
	目的（何のために） 最新の被害想定や災害により異なる避難場所及び対策などを盛り込んだ防災マップを作成し、市民等に配布し活用してもらうことで、自身や家族、地域における防災・減災意識を高めてもらうとともに、適切かつ迅速な避難行動の推進を図るため。											
	対象（誰・何を対象に） 市民等											
	事業内容（手段、手法など） マップの構成： ①矢作川・稗田川洪水 ②土砂災害 ③津波 ④震度分布 ⑤液化化 B3両面（表面：被害想定、利用可能な避難場所等、裏面：対策等） ⑥表紙（新たなマップの追加にも対応可能） 印刷枚数：25,000枚 ＊高潮については、令和3年度に新たな被害想定公表が予定されていることから、令和4年度以降にマップを作成していく予定。											
目指す成果（期待される効果） 最新の被害想定に基づき、居住する地域の災害リスク、避難場所や避難所等を把握し、避難ルート等を確認する中で、災害時における適切かつ迅速な避難行動の推進を図り、市民の生命及び財産を守る。												
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	防災マップを作成し、令和3年の出水期前までに市民等に配布するとともに、高浜市公式ホームページ等にも掲載する。										令和3年5月	
令和2年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）								
	10,472 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			7,680	
事業費積算内容	防災マップ作成業務委託料 10,472千円 （災害リスク別マップ（B3両面×5種類）、表紙、印刷枚数：25,000枚）											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	補助金申請・交付決定											
	契約事務											
				防災マップ作成								
(R3.5：全世帯配布及び公式ホームページ等への掲載)												
補正予算書及び説明書該当ページ			113ページ									

主要・新規事業等

事業名等	生活困窮者自立支援事業 (アウトリーチ支援員)【新規】		予算事業名	会計年度任用職員管理事業								
担当グループ	福祉部地域福祉グループ		予算所管グループ	企画部秘書人事グループ								
総合計画区分	基本目標	IV いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう	個別目標	(10) 一人ひとり認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます								
予算区分	会計	一般会計	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	01社会福祉総務費	事業名: 02会計年度任用職員管理事業			
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>現在、35～44歳を中心とする、いわゆる「就職氷河期世代」は、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、不安定な仕事や無職等の状態にある方が多い傾向にある。こうした中、国が令和2年度から3年間の支援プログラムを策定し、同世代の活躍の場を広げるために必要な施策を実施することに伴い、市においても新たな施策を実施する。</p>										
	目的(何のために)	<p>就職氷河期世代を対象に、正規職員等の安定した仕事を希望しているにもかかわらず不安定就労や長期失業、ひきこもり等の状態にある方の就労・増収等を支援することで、生活保護や生活困窮に陥ることを未然に防ぐ。</p>										
	対象(誰・何を対象に)	<p>正規雇用希望者や長期失業者、ひきこもり等で将来的に生活困窮や社会的孤立のおそれがある方</p>										
	事業内容(手段、手法など)	<p>正規雇用希望者や長期失業者、ひきこもり等で生活困窮や社会的孤立のおそれがある方を支援する「アウトリーチ支援員」を自立相談支援機関に配置し、自立相談支援員や就労支援員、ハローワークなどと連携して、支援対象者の社会参加や就労、増収をサポートする。</p>										
目指す成果(期待される効果)	<p>支援が必要な方の社会参加や就労、増収を支援し、精神的・経済的な自立を促すとともに、生活保護や生活困窮に陥ることを未然に防止する。</p>											
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)									達成時期(いつまでに)		
	要支援者の状況に応じ訪問や面接等を行い、1年間につき10人以上を支援する。									令和5年3月		
令和2年度	事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)									
	2,999千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			2,999		
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬 2,259千円 ・期末手当 319千円 ・社会保険料 389千円 ・雇用保険料 24千円 ・労災保険料 8千円 											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	<p>支援関係調整機関との 支援対象者に対する支援業務</p>											
予算書及び予算説明書該当ページ	127ページ											

アウトリーチ支援員について

- 正規雇用希望者や長期失業者、引きこもりなどで生活困窮や社会的孤立状態にある方を支援するための「アウトリーチ支援員」を自立相談支援機関に配置し、社会参加や就労をサポートする。
- 自立相談支援員や就労支援員、子ども健全育成支援員、ハローワーク等と連携し、要支援者の状況に応じ、訪問支援や家計相談、就職支援等、継続的な支援を行う。



主要・新規事業等

事業名等		保育園管理運営事業（施設型給付費）【継続】																							
担当グループ		こども未来部こども育成グループ																							
総合計画区分		基本：Ⅱ 学び合い 力を合わせて 目標：豊かな未来を育もう					個別：（5）子育て・子育てを支える環境を 目標：整えます																		
予算区分		会計：一般会計		款：03民生費		項：02児童福祉費		目：02保育サービス費																	
アクションプラン		■該当する □該当しない																							
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児で待機児童が発生している。 ・保育園は入園希望者が定員を上回っているが、公立幼稚園では定員割れが続いている。 																							
	目的（何のために）	<ul style="list-style-type: none"> ・安心してこどもを産み、育てられるよう、保育ニーズに対応した子育て環境を整える。 																							
	対象（誰・何を対象に）	就学前の児童及びその家族																							
	事業内容（手段、手法など）	<ul style="list-style-type: none"> ・施設型給付施設である幼保連携型認定こども園の2園（翼幼保園、たかとりこども園）及び令和2年4月開所予定のたかはまこども園（幼保連携型認定こども園）の運営費となる施設型給付費を施設運営主体の法人に毎月給付する。 ・公定価格－利用者負担額＝施設型給付費（給付額） ※令和元年10月より3歳以上児及び住民税非課税世帯の3歳未満児の利用者負担額は無料 																							
目指す成果（期待される効果）		<ul style="list-style-type: none"> ・安心してこどもを産み、育てられるような、保育ニーズに対応した子育て環境の整備が進む。 ・民間法人の運営により、保育サービスの充実が図られる。 																							
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）														
		令和2年4月開所予定のたかはまこども園（幼保連携型認定こども園）で定員198名の児童を受け入れる。（1歳児10人、2歳児18人は新設）									令和2年4月														
令和2年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）																						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																		
		389,869 千円	173,896	96,800							119,173														
事業費積算内容		<ul style="list-style-type: none"> ・施設型給付費 389,869千円 <ul style="list-style-type: none"> （うち たかはまこども園分 107,481千円） （うち たかとりこども園分 149,363千円） （うち 翼幼保園分 133,025千円） 																							
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月													
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期															
事業実施スケジュール		<p>事業運営 ←</p> <table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> <p>→</p>																							
予算書及び予算説明書該当ページ		149ページ																							

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成27年度 ~ 令和元年度	総事業費	686,279千円			
これまでの主な取組と成果	市内の認定こども園2園（翼幼保園、たかとりこども園）及び市外の認定こども園（広域入所）の利用児童を受け入れた。					
令和元年度 (予算)	取組内容	市内の認定こども園2園（翼幼保園、たかとりこども園）及び市外の認定こども園（広域入所）の利用児童を受け入れた。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	267,161 千円	101,774	56,729			108,658
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・施設型保育給付費 267,161千円【補正予算後】 <li style="padding-left: 20px;">（うち たかとりこども園分 142,258千円） <li style="padding-left: 20px;">（うち 翼幼保園分 124,903千円） 					
平成30年度 (決算)	取組内容	市内の認定こども園1園（翼幼保園）及び市外の認定こども園（広域入所）の利用児童を受け入れた。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	107,001 千円	36,057	18,988			51,956
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・施設型保育給付費 107,001千円 <li style="padding-left: 20px;">（うち 翼幼保園分 106,180千円） 					

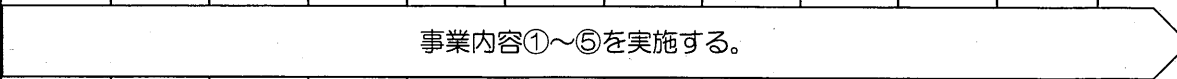
主要・新規事業等

事業名等													母子保健事業 (電子母子健康手帳アプリケーションシステム使用料) 【新規】																																			
担当グループ													福祉部健康推進グループ																																			
総合計画区分													基本目標: II 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標: (5) 子育て・子育てを支える環境を整えます																													
予算区分													会計: 一般会計		款: 04衛生費		項: 01保健衛生費		目: 02保健・予防費				事業名: 02母子保健事業																									
アクションプラン													<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない																																			
事業概要	事業の必要性・実施の背景													スマートフォン(スマホ)をお持ちの方が増え、身近な情報ツールとして定着しつつある。電子母子健康手帳の機能を活用し、紙ベースの母子健康手帳を補完する形での子育て支援策を実施する。																																		
	目的(何のために)													<ul style="list-style-type: none"> 保護者が健診や子育ての記録を電子データとして保管することで、いつでも子どもの成長記録をスマホで確認できるようにする。 保護者が予防接種のスケジュールや接種履歴を確認できるようにする。 外国籍の保護者が、母国語で子どもの記録を確認できるようにする。 																																		
	対象(誰・何を対象に)													母子健康手帳の所持者やその家族																																		
	事業内容(手段、手法など)													スマホに入れた電子母子健康手帳アプリに子どもの成長を入力することで、現行の母子健康手帳と併用することができる。また、スマホを通して子どもの成長記録や予防接種履歴を確認できるようにする。																																		
目指す成果(期待される効果)													子どもの身長や体重を始めとした健診結果や予防接種履歴が一目で確認できるようになるとともに、外国籍児の保護者が母国語で子どもの記録を確認することで、発育等への不安の解消を図る。																																			
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)													目標(何をどのようにする)									達成時期(いつまでに)																										
													アプリケーションソフトを導入し、対象者の利用を開始する。									令和2年6月																										
令和2年度													事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)																																
													550千円			国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源																								
																						550																										
事業費積算内容													電子母子健康手帳アプリケーションシステム使用料 550千円																																			
令和2年度													4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
													第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期																										
事業実施スケジュール													業者選定			利用準備			アプリ利用開始																													
																						→																										
																						ホームページ・広報への掲載、保健事業での周知 →																										
予算書及び予算説明書該当ページ													163ページ																																			

主要・新規事業等

主要・新規事業等													
事業名等		交通安全指導啓発事業 (高齢者後付安全運転支援装置設置費補助金)【新規】											
担当グループ		都市政策部防災防犯グループ											
総合計画区分		基本目標：Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう					個別目標：(9) 安全・安心が実感できる まちづくりを進めます						
予算区分		会計：一般会計		款：08土木費		項：08交通安全対策費		目：02交通安全啓発費				事業名：01交通安全指導啓発事業	
アクションプラン		<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>高齢ドライバーによる交通事故が全国各地で発生している。関係機関と連携し運転免許証の自主返納を促す啓発活動等を推進する一方で、自分は大丈夫と思っている高齢者も多いのが実情である。超高齢化社会を迎え、今後も高齢ドライバーの増加が見込まれる中、悲惨な交通事故を防ぐためにも、運転マナーの向上に加え、安全運転支援装置の設置などのハード対策も推進し、より安全に運転できる環境を整備していく必要がある。</p>											
	目的(何のために)	<p>高齢者への交通安全対策の一つとして、安全運転支援装置の普及を図り、高齢ドライバーへの安全運転環境を整備することで、交通事故防止及び交通事故発生件数を減少させるため。</p>											
	対象(誰・何を対象に)	<p>満65歳以上の市民(運転免許証保有者) (予定)</p>											
	事業内容(手段、手法など)	<p>満65歳以上のドライバー名義の自家用車に後付安全運転支援装置を設置する際に設置費の一部を補助する。 ①補助率：4/5(予定) ②補助限度額：最大6万円(予定) ③補助対象装置：国が実施する先行個別認定を受けた後付安全運転支援装置(予定) ④補助事業実施期間：令和2年4月～令和3年3月(予定) ※本事業については、国や愛知県においても補助要綱の整備等が進められており、その動向によっては、事業内容を変更する可能性があります。(令和2年1月28日時点)</p>											
目指す成果(期待される効果)		<p>高齢ドライバーの安全運転環境が整備され、交通事故防止及び交通事故発生件数の減少に繋がる。</p>											
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)		目標(何をどのようにする)									達成時期(いつまでに)		
		<p>人口1,000人当たりの交通事故発生件数を年間3件以内とする。 (第6次高浜市総合計画(基本計画)みんなで目指すまちづくり指標)</p>									令和4年3月		
令和2年度	事業費(経費)		財源内訳(単位：千円)										
	2,160千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					2,160	
事業費積算内容		<p>高齢者後付安全運転支援装置設置費補助金 2,160千円 (60千円 × 36件)</p>											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール		補助制度の開始											
		<p>広報たかはま、高浜市公式ホームページ、交通安全講話、高齢者イベント等での周知</p>											
補正予算書及び説明書該当ページ		199ページ											

主要・新規事業等

事業名等		児童生徒健全育成事業（スクールソーシャルワーカー謝礼）【新規】										
担当グループ		教育委員会学校経営グループ										
総合計画区分		基本目標：Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標：（４）学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分		会計：一般会計		款：10教育費		項：01教育総務費		目：03教育指導費				
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行う、スクールソーシャルワーカーを教育委員会・学校等に配置し、教育相談体制を整備する。										
	目的（何のために）	スクールソーシャルワーカーを教育委員会・学校等に配置し、問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働き掛け、関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整、学校内におけるチーム体制の構築、支援、保護者・教職員等に対する支援・相談・情報提供、教職員等への研修活動を実施するため。										
	対象（誰・何を対象に）	市内小中学校の児童・生徒										
	事業内容（手段、手法など）	①問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働き掛け ②関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整 ③学校内におけるチーム体制の構築、支援 ④保護者・教職員等に対する支援・相談・情報提供 ⑤教職員等への研修活動										
目指す成果（期待される効果）		<ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカーを設置することで、家庭・学校・地域など子どもが置かれた環境の問題に働きかけ、改善することができるようになる。 ・スクールソーシャルワーカー設置事業を実施することで、関係機関（福祉・児童相談センター・学校など）と連携・調整し、効果的な解決を図ることができるようになる。 										
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）	
		問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援をする。									令和3年3月	
令和2年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	2,406 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
				800						1,606		
事業費積算内容		スクールソーシャルワーカー謝礼 2,406千円										
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール		<div style="text-align: center;">  </div>										
予算書及び予算説明書該当ページ		205ページ										

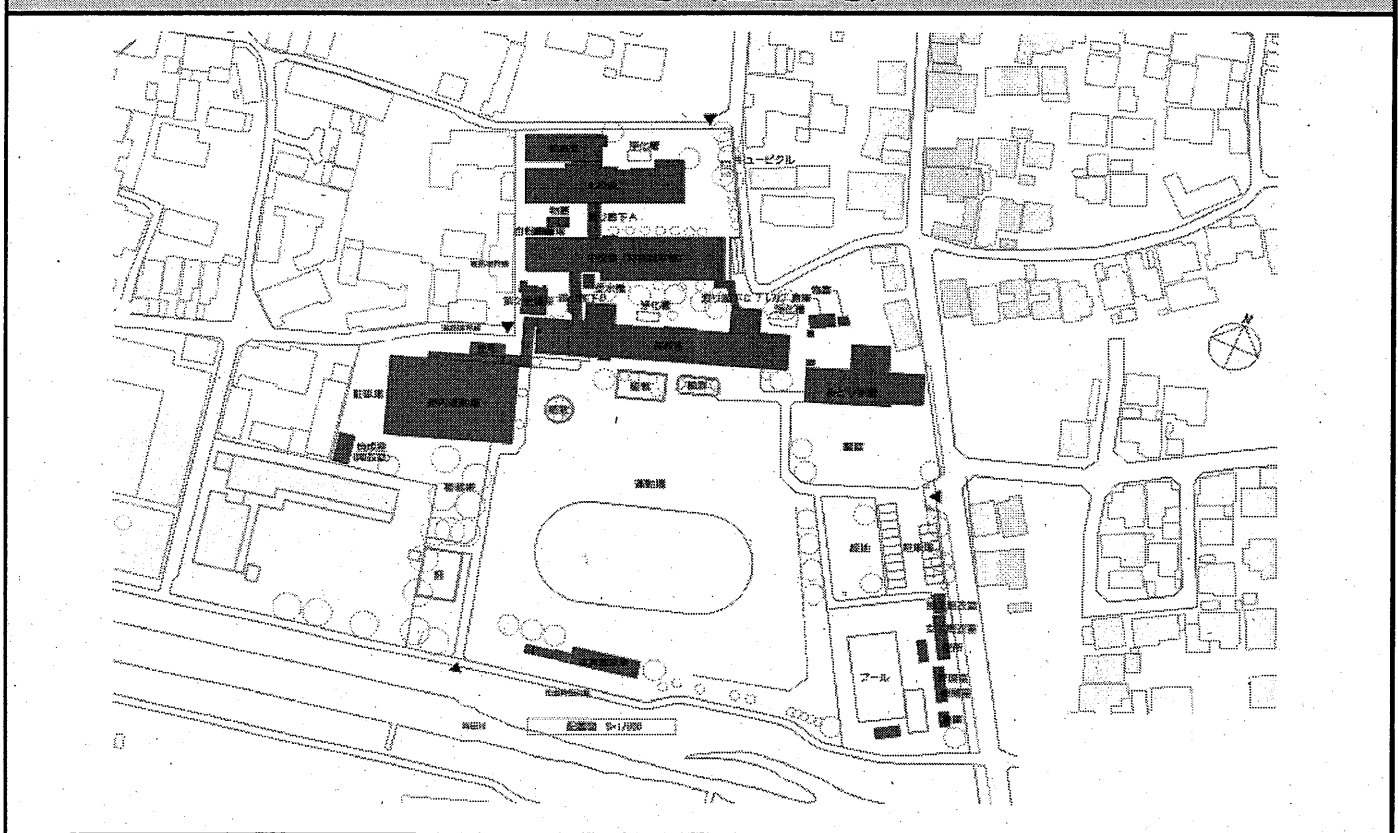
主要・新規事業等

事業名等		小学校維持管理事業 (高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託) 【継続】										
担当グループ		教育委員会学校経営グループ										
総合計画区分		基本目標：Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標：(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分		会計：一般会計		款：10教育費		項：02小学校費		目：01学校管理費				
アクションプラン		<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	高取小学校は、南校舎が築53年、北校舎が築43年と老朽化が進んでおり、今後も厳しい財政状況が予想される中では、効果的・効率的に長寿命化対策を行い、校舎を長く使っていくことが欠かせない。										
	目的 (何のために)	高取小学校を将来にわたって長く使い続けるための大規模改造工事に向けた実施設計等を行うため。										
	対象 (誰・何を対象に)	高取小学校校舎等										
	事業内容 (手段、手法など)	高取小学校の大規模改造に向けた実施設計を行う。 ・経年による外壁等の劣化の改修 ・水道、電気、ガス管等のライフラインの更新 ・建物の機能や性能を向上させるもの ・学校現場との協議等 【設計～工事スケジュール】 令和元～3年度：設計業務・交付金申請、令和4～6年度：大規模改造工事										
目指す成果 (期待される効果)		物理的な不具合を直すとともに、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる大規模改造につなげ、学校施設の長寿命化を図る。										
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)		目標 (何をどのようにする)									達成時期 (いつまでに)	
		高取小学校の大規模改造に向けた実施設計等を完了する。									令和4年3月	
令和2年度	事業費(経費)		財源内訳(単位：千円)									
	33,664 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				33,664	
事業費積算内容		<<現年度予算>>※債務負担行為限度額内の現年度予算 ・高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託 33,664千円 <<債務負担行為>> 期間：令和3年度 残額：高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料 26,919千円 <<合計>> 60,583千円										
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール		<div style="text-align: center;">  実施設計 </div>										
予算書及び予算説明書該当ページ		209・258ページ										

これまでの主な取組と成果

事業年度	令和元年度	総事業費	10,687千円			
これまでの主な取組と成果	基本設計を実施し、今後の実施設計及び工事に向けた準備を進めることができた。					
令和元年度 (予算)	取組内容	基本設計の実施				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,687 千円					10,687
主な経費	高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料(1年目)		10,687千円			

資料等(位置図等)



主要・新規事業等

事業名等		小学校維持管理事業（水泳指導等委託等）【継続】										
担当グループ		教育委員会学校経営グループ										
総合計画区分		基本：Ⅱ 学び合い 力を合わせて 目標：豊かな未来を育もう					個別：（４）学校・家庭・地域が連携を深め、 目標：12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分		会計：一般会計		款：10教育費		項：02小学校費		目：01学校管理費				
アクションプラン		■該当する □該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	勤労青少年ホーム跡地活用事業として、学校プール機能を有する民間施設を活用した新たな水泳指導の取り組みを進めていく必要があるため。										
	目的（何のために）	【水泳指導】体育科における水泳指導を委託することにより、プール施設、指導補助業務及び移動手段を確保し、当該校における円滑な水泳指導に資するため。 【プール開放】夏季休暇中のプール開放を委託することにより、プール施設及び移動手段を確保し、当該校における円滑なプール開放に資するため。										
	対象（誰・何を対象に）	高浜小学校・高取小学校の全児童										
	事業内容（手段、手法など）	《実施内容》水泳指導とプール開放を実施する。 《手段・手法》 【水泳指導】㈱コパンに委託することで、プール施設及び移動手段を確保し、教員と共にインストラクターから水泳指導を受けることができる。 【プール開放】㈱コパンに委託することで、プール施設及び移動手段を確保することができる。										
目指す成果（期待される効果）		<ul style="list-style-type: none"> 水泳授業の充実により児童の泳力が向上する。 プールの維持管理にかかる労力や費用を減らすことができる。 										
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）	
		高浜小学校、及び高取小学校における水泳指導を委託することにより、円滑な水泳授業を実施する。									令和2年9月	
令和2年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	5,687 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				5,687	
事業費積算内容		水泳指導等委託料 水泳授業：（高小646人＋取小534人）×800円×5回×1.1＝5,192千円 夏期水泳指導等委託料 プール開放：75,000円×3日×2校×1.1＝495千円										
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール		○契約 ○水泳授業委託 ○プール開放										
予算書及び予算説明書該当ページ		209ページ										

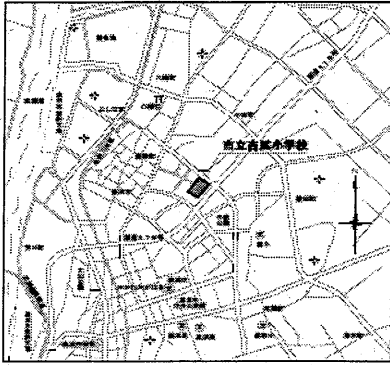
これまでの主な取組と成果

事業年度	令和元年度	総事業費	3,095千円			
これまでの 主な取組 と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・高浜小学校の水泳授業は6月～7月にかけて各学年5回ずつ実施した。 ・高浜小学校の夏季プール開放は学年の出校日に合わせて、1回ずつ実施した。 ・令和2年度の民間プール活用に向けて、高取小学校が試行的に水泳授業委託を実施した。 ・委託した水泳指導では、インストラクターと教員とのチームティーチングによりきめ細やかで効果的な指導ができた。 ・教員のプールの維持管理にかかる労力や費用を減らすことができた。 					
令和元年度 (予算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳授業は6月～7月にかけて各学年5回ずつ実施した。 ・夏季プール開放は学年の出校日に合わせて、1回ずつ実施した。 				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
	3,095 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
						3,095
主な 経費	水泳指導等委託料 2,852千円 夏期水泳指導等委託料 243千円					

主要・新規事業等

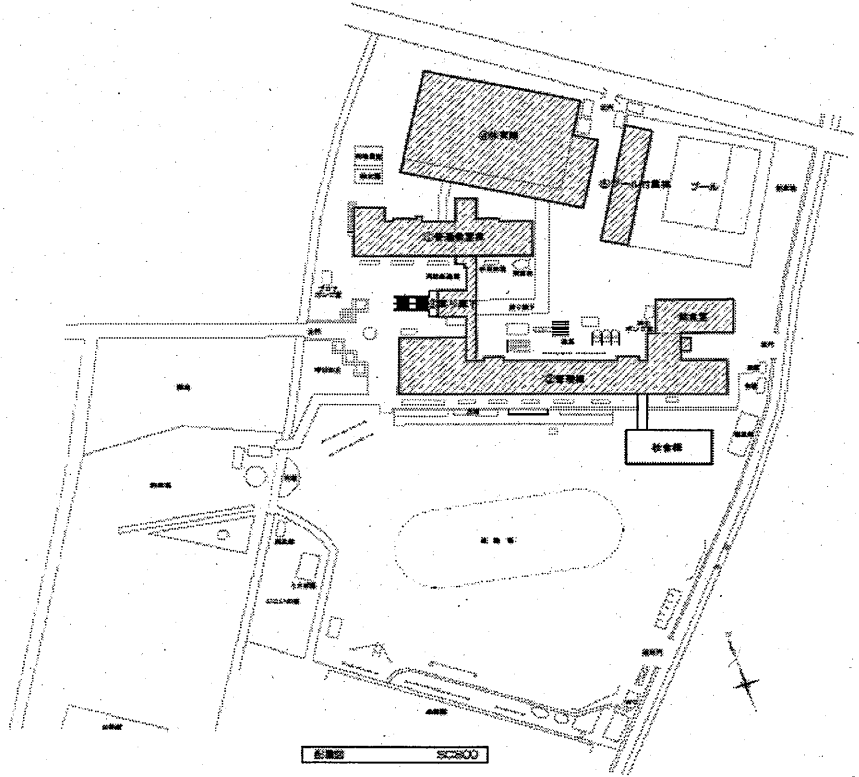
事業名等		小学校維持管理事業 (吉浜小学校大規模改造事業実施設計等業務委託)《債務負担行為》【新規】											
担当グループ		教育委員会学校経営グループ											
総合計画区分		基本目標: II 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標: (4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます						
予算区分		会計: 一般会計		款: 10教育費		項: 02小学校費		目: 01学校管理費			事業名: 01小学校維持管理事業		
アクションプラン		<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	吉浜小学校は、建築後49年が経過し、老朽化が進んでおり、今後も厳しい財政状況が予想される中では、効果的・効率的に長寿命化対策を行い、校舎を長く使っていくことが欠かせない。											
	目的(何のために)	吉浜小学校を将来にわたって長く使い続けるための大規模改造工事に向けた実施設計等を行うため。											
	対象(誰・何を対象に)	吉浜小学校校舎等											
	事業内容(手段、手法など)	吉浜小学校の大規模改造に向けた実施設計を行う。 ・経年による外壁等の劣化の改修 ・水道、電気、ガス管等のライフラインの更新 ・建物の機能や性能を向上させるもの ・学校現場との協議等 【設計～工事スケジュール】 令和2～3年度：設計業務、令和4年度：交付金申請、令和5～6年度：大規模改造工事											
目指す成果(期待される効果)		物理的な不具合を直すとともに、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる大規模改造につなげ、学校施設の長寿命化を図る。											
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)		目標(何をどのようにする)								達成時期(いつまでに)			
		吉浜小学校の大規模改造に向けた実施設計等を完了する。								令和4年3月			
令和2年度	事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)										
	26,345 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			26,345			
事業費積算内容		《現年度予算》 ・吉浜小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料 26,345千円 《債務負担行為》 期間: 令和3年度 限度額: 吉浜小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料 72,274千円 《合計》 98,619千円											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール		契約手続き			基本設計								
予算書及び予算説明書該当ページ		209・264ページ											

資料等(位置図等)



南大宮小学校

区分	種別	種別・種別	面積(㎡)	備考
1	校舎	校舎	1,000.00	
2	校舎	校舎	1,000.00	
3	校舎	校舎	1,000.00	
4	校舎	校舎	1,000.00	
5	校舎	校舎	1,000.00	
6	校舎	校舎	1,000.00	
7	校舎	校舎	1,000.00	
8	校舎	校舎	1,000.00	
9	校舎	校舎	1,000.00	
10	校舎	校舎	1,000.00	
11	校舎	校舎	1,000.00	
12	校舎	校舎	1,000.00	
13	校舎	校舎	1,000.00	
14	校舎	校舎	1,000.00	
15	校舎	校舎	1,000.00	
16	校舎	校舎	1,000.00	
17	校舎	校舎	1,000.00	
18	校舎	校舎	1,000.00	
19	校舎	校舎	1,000.00	
20	校舎	校舎	1,000.00	
21	校舎	校舎	1,000.00	
22	校舎	校舎	1,000.00	
23	校舎	校舎	1,000.00	
24	校舎	校舎	1,000.00	
25	校舎	校舎	1,000.00	
26	校舎	校舎	1,000.00	
27	校舎	校舎	1,000.00	
28	校舎	校舎	1,000.00	
29	校舎	校舎	1,000.00	
30	校舎	校舎	1,000.00	
31	校舎	校舎	1,000.00	
32	校舎	校舎	1,000.00	
33	校舎	校舎	1,000.00	
34	校舎	校舎	1,000.00	
35	校舎	校舎	1,000.00	
36	校舎	校舎	1,000.00	
37	校舎	校舎	1,000.00	
38	校舎	校舎	1,000.00	
39	校舎	校舎	1,000.00	
40	校舎	校舎	1,000.00	
41	校舎	校舎	1,000.00	
42	校舎	校舎	1,000.00	
43	校舎	校舎	1,000.00	
44	校舎	校舎	1,000.00	
45	校舎	校舎	1,000.00	
46	校舎	校舎	1,000.00	
47	校舎	校舎	1,000.00	
48	校舎	校舎	1,000.00	
49	校舎	校舎	1,000.00	
50	校舎	校舎	1,000.00	
51	校舎	校舎	1,000.00	
52	校舎	校舎	1,000.00	
53	校舎	校舎	1,000.00	
54	校舎	校舎	1,000.00	
55	校舎	校舎	1,000.00	
56	校舎	校舎	1,000.00	
57	校舎	校舎	1,000.00	
58	校舎	校舎	1,000.00	
59	校舎	校舎	1,000.00	
60	校舎	校舎	1,000.00	
61	校舎	校舎	1,000.00	
62	校舎	校舎	1,000.00	
63	校舎	校舎	1,000.00	
64	校舎	校舎	1,000.00	
65	校舎	校舎	1,000.00	
66	校舎	校舎	1,000.00	
67	校舎	校舎	1,000.00	
68	校舎	校舎	1,000.00	
69	校舎	校舎	1,000.00	
70	校舎	校舎	1,000.00	
71	校舎	校舎	1,000.00	
72	校舎	校舎	1,000.00	
73	校舎	校舎	1,000.00	
74	校舎	校舎	1,000.00	
75	校舎	校舎	1,000.00	
76	校舎	校舎	1,000.00	
77	校舎	校舎	1,000.00	
78	校舎	校舎	1,000.00	
79	校舎	校舎	1,000.00	
80	校舎	校舎	1,000.00	
81	校舎	校舎	1,000.00	
82	校舎	校舎	1,000.00	
83	校舎	校舎	1,000.00	
84	校舎	校舎	1,000.00	
85	校舎	校舎	1,000.00	
86	校舎	校舎	1,000.00	
87	校舎	校舎	1,000.00	
88	校舎	校舎	1,000.00	
89	校舎	校舎	1,000.00	
90	校舎	校舎	1,000.00	
91	校舎	校舎	1,000.00	
92	校舎	校舎	1,000.00	
93	校舎	校舎	1,000.00	
94	校舎	校舎	1,000.00	
95	校舎	校舎	1,000.00	
96	校舎	校舎	1,000.00	
97	校舎	校舎	1,000.00	
98	校舎	校舎	1,000.00	
99	校舎	校舎	1,000.00	
100	校舎	校舎	1,000.00	



主要・新規事業等												
事業名等	小学校維持管理事業・中学校維持管理事業 (小・中学校トイレ改修工事設計業務委託) 【新規】											
担当グループ	教育委員会学校経営グループ											
総合計画区分	基本：Ⅱ 学び合い 力を合わせて 目標：豊かな未来を育もう						個別：(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、 目標：12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計：一般会計		款：10教育費		項：02小学校費・03中学校費		目：01学校管理費					
アクションプラン	事業名：01小学校維持管理事業・02中学校維持管理事業											
事業概要	<p>アクションプラン <input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない</p> <p>事業の必要性・実施の背景 トイレの洋式化について、老朽化が進んでいる港小学校、高浜中学校、南中学校については、大規模改造工事の前倒しとして改修していく必要がある。なお、大規模改造工事の設計業務に着手した高取小学校及び着手する吉浜小学校は大規模改造工事に合わせて改修を実施する。</p> <p>目的 (何のために) 学校トイレの洋式化、乾式化により、教育環境が向上し、自宅の洋式トイレで育った世代の児童生徒が安心した学校生活を送れるようにするため。</p> <p>対象 (誰・何を対象に) 港小学校、高浜中学校、南中学校の児童生徒</p> <p>事業内容 (手段、手法など) 既存の和式便器の洋式便器への取り替え、及び湿式トイレから乾式トイレへ改修するための工事設計業務を実施する。</p> <p>目指す成果 (期待される効果) 学校施設の衛生面、安全面、使い勝手など、教育環境の向上につながる。</p> <p>目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入) 目標 (何をどのようにする) トイレの洋式化に向けて、港小学校、高浜中学校、南中学校のトイレ改修工事設計業務を完了する。 達成時期 (いつまでに) 令和3年3月</p>											
令和2年度	事業費(経費)		財源内訳(単位：千円)									
	18,238 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
事業費積算内容	小学校トイレ改修工事設計業務委託料(港小) 6,080千円 中学校トイレ改修工事設計業務委託料(高中・南中) 12,158千円 計 18,238千円											
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	契約手続き			小中学校トイレ改修工事設計								
予算書及び予算説明書該当ページ	209・213ページ											

主要・新規事業等

事業名等													高浜小学校等整備事業 (高浜小学校等整備費(PFI事業)等)【継続】																																			
担当グループ													教育委員会学校経営グループ																																			
総合計画区分													基本：Ⅱ 学び合い 力を合わせて 目標：豊かな未来を育もう						個別：(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、 目標：12年間の学びや育ちをつなげます																													
予算区分													会計：一般会計		款：10教育費			項：02小学校費			目：03学校建設費																											
アクションプラン													<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない																																			
事業概要	事業の必要性・実施の背景													◇本事業が公共施設のあり方のモデルとなるよう、学校を核として他の公共施設の複合化・集約化を進める必要がある。																																		
	目的 (何のために)													★将来の公共施設の更新や大規模改修に必要な費用を把握し、長寿命化や施設機能の集約等により、サービス水準を低下させずに、公共施設の総量を圧縮するため。 ★高浜小学校を多様な学習環境への対応や、地域での多目的活用を含めた変化へ柔軟に対応できる学校施設に整備するため。																																		
	対象 (誰・何を対象に)													児童・市民																																		
	事業内容 (手段、手法など)													【事業内容】 ◆二期工事(体育館・サブアリーナ・児童センターの工事) ◆三期工事(駐車場の整備) ◆事業者と工事に係る調整・協議を行う。 ◆実施設計に基づく備品・配置等を学校と調整を行う。																																		
目指す成果 (期待される効果)													多様な利活用が可能な学校施設へと転換することで、新たな学びの場の創出につながっている。																																			
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)													目標(何をどのようにする)						達成時期(いつまでに)																													
													令和3年4月からの全面供用開始に向け、関係者との調整を図りながら、建設工事及び引越しをスケジュール通りに実施する。						令和3年3月																													
令和2年度													事業費(経費)			財源内訳(単位：千円)																																
													1,522,439 千円			国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源																								
													75,000					1,226,300		35		221,104																										
事業費積算内容													高浜小学校等整備費(PFI事業)						1,482,486千円																													
													高浜小学校等維持管理業務委託料						21,916千円																													
													高浜小学校等整備事業建設・維持管理モニタリング業務委託料						17,433千円																													
													高浜小学校引越業務委託料						604千円																													
令和2年度													4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
													第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期																										
事業実施スケジュール													二期工事(体育館・サブアリーナ・児童センター)																																			
																			三期工事(駐車場)																													
																			維持管理																													
予算書及び予算説明書該当ページ													211ページ																																			

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成26年度 ~ 令和元年度	総事業費	2,150,216千円														
これまでの 主な取組 と成果	<p>平成26年度は、市職員と教職員とで、各教室・諸室の必要性や他市の複合化事例を情報共有し、複合化施設の検討を行ったり、市民を交えたワークショップを開催し、情報共有や提供サービスを検討した。</p> <p>平成27年度からは、事業者募集に向けた事業条件を整理し、平成28年度に事業者の選定を行った。</p> <p>その後、施設の基本設計・実施設計を実施し、平成30年1月より建設工事に着手、平成31年2月末に一期工事が完了し、同年3月に二期工事に着手した。</p>																
令和元年度 (予算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆高浜小学校の工事 ◆事業者と工事に係る調整・協議を行った。 ◆実施設計に基づく備品・配置等を学校と調整を行った。 															
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）															
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源											
	83,209 千円			23,000	35	60,174											
主な 経費	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">高浜小学校等整備費（PFI事業）</td> <td style="text-align: right;">58,539千円</td> </tr> <tr> <td>高浜小学校等維持管理業務委託料</td> <td style="text-align: right;">17,714千円</td> </tr> <tr> <td>高浜小学校等整備事業建設・維持管理モニタリング業務委託料</td> <td style="text-align: right;">6,956千円</td> </tr> </table>					高浜小学校等整備費（PFI事業）	58,539千円	高浜小学校等維持管理業務委託料	17,714千円	高浜小学校等整備事業建設・維持管理モニタリング業務委託料	6,956千円						
高浜小学校等整備費（PFI事業）	58,539千円																
高浜小学校等維持管理業務委託料	17,714千円																
高浜小学校等整備事業建設・維持管理モニタリング業務委託料	6,956千円																
平成30年度 (決算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆高浜小学校の工事 ◆事業者と工事に係る調整・協議を行った。 ◆実施設計に基づく備品・配置等を学校と調整を行った。 ◆引越し作業を計画的に行った。 															
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）															
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源											
	2,022,479 千円	512,683	22,464	1,313,000		174,332											
主な 経費	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">高浜小学校整備事業費（PFI事業）</td> <td style="text-align: right;">1,982,342千円</td> </tr> <tr> <td>高浜小学校等整備事業建設・維持管理モニタリング業務委託料</td> <td style="text-align: right;">10,746千円</td> </tr> <tr> <td>高浜小学校引越業務委託料</td> <td style="text-align: right;">2,122千円</td> </tr> <tr> <td>高浜小学校竣工式会場設営業務委託料</td> <td style="text-align: right;">49千円</td> </tr> <tr> <td>庁用器具費</td> <td style="text-align: right;">26,957千円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td style="text-align: right;">263千円</td> </tr> </table>					高浜小学校整備事業費（PFI事業）	1,982,342千円	高浜小学校等整備事業建設・維持管理モニタリング業務委託料	10,746千円	高浜小学校引越業務委託料	2,122千円	高浜小学校竣工式会場設営業務委託料	49千円	庁用器具費	26,957千円	通信運搬費	263千円
高浜小学校整備事業費（PFI事業）	1,982,342千円																
高浜小学校等整備事業建設・維持管理モニタリング業務委託料	10,746千円																
高浜小学校引越業務委託料	2,122千円																
高浜小学校竣工式会場設営業務委託料	49千円																
庁用器具費	26,957千円																
通信運搬費	263千円																

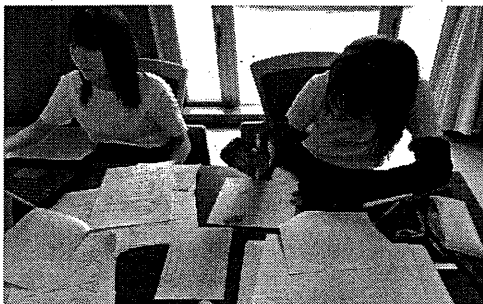
主要・新規事業等

事業名等	文化財保護事業（市誌編さん業務委託等）【継続】											
担当グループ	こども未来部文化スポーツグループ											
総合計画区分	基本目標：Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標：(3) 学び・文化・スポーツの輪を広げ、まちの子カヲを育みます					
予算区分	会計：一般会計		款：10教育費		項：05社会教育費		目：06文化財保護費					
アクションプラン	事業名：01文化財保護事業											
事業概要	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
	事業の必要性・実施の背景	<p>「高浜市誌」が発行されてから約40年が経過し、この間、市の状況は大きく変化してきた。しかし、まちのあゆみを知ることができる貴重な資料の保存や人々の中にある記憶を記録にとどめる作業は不十分であり、市民の共有財産である資料等の散逸・消失を防ぐことが大きな課題となっている。歴史を途切れさせることなく後世へ伝え、今を生きる私たち、そして将来のまちづくりに活かせるようにしていくことが必要である。「タカハマ！まるごと宝箱」事業の効果で、地域の歴史・文化の保存や継承に対する市民機運が高まりを見せている今、高浜の歴史を途切れることなく継承させ、未来の市民へ受け継ぐ取り組みを行う必要がある。</p>										
	目的（何のために）	<p>まちのあゆみを知ることができる有形・無形の貴重な資料等を保存し、後世へ伝えるため。まちの歴史や人々のまちへの想い・記憶を知ることにより、まちへの愛着・誇りを高め、現在・将来のまちづくりに活かしていくため。</p>										
	対象（誰・何を対象に）	市民										
事業内容（手段、手法など）	<p>市民と行政が協働で、高浜の歴史・伝統・産業・文化等について資料収集や調査を行う。その後、幅広い年代が活用できるよう、わかりやすさを意識し、従来の「町誌」「市誌」「市誌資料」に収められていない市制施行以降のあゆみを重点的にまとめた新しい市誌を発行する。</p> <p>＜令和2年度の主な事業内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新編高浜市誌「高浜市のあゆみ」の発行 ・「高浜市のあゆみ資料④」（別冊資料）の発行 ・「高浜市のあゆみ」発行記念シンポジウムの開催 ・広報への事業進捗状況の掲載 											
目指す成果（期待される効果）	<p>まちのあゆみを知ることができる各種資料や、人々の中にあるまちの記憶の散逸・消失を防ぎ、歴史を途切れなく記録することができる。今を生きる市民や将来の市民に受け継がれ、まちづくりに役立てることができる。</p> <p>資料の掘り起こしや編集・普及活動を市民とともにを行うことにより、まちづくりの原動力である「たかはま大好き」「住んでいるまちをより良くしたい」の想いを高めることができる。</p>											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	新編高浜市誌『高浜市のあゆみ』を発行する。										令和2年12月	
令和2年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）								
	16,750 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			400	
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市誌編さん業務委託料 1,340千円 ・市誌編さん委員会委員報酬 93千円 ・市誌編さん調査謝礼 9,960千円 ・特別旅費 79千円 ・消耗品費 170千円 			<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム講師謝礼 135千円 ・印刷製本費 4,947千円 ・費用弁償 3千円 ・普通旅費 2千円 ・通信運搬費 21千円 								
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	資料整理											
	編さん過程に関する情報発信・市民への協力呼びかけ											
	部会ごとの補足調査・執筆及び編集						刊行					
	編さん委員会						編さん委員会 発刊記念シンポジウム					
予算書及び予算説明書該当ページ	227ページ											

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成28年度 ~ 令和元年度	総事業費	35,697 千円			
これまでの主な取組と成果	<p>基本方針の作成、編さん委員会や編集委員会の組織、内規等の作成など、基本的な体制を平成28年度に整え、平成29年度から30年度にかけて、調査執筆員を中心として資料調査を実施した。</p> <p>令和元年度は、これまでの調査成果をふまえた執筆活動を行っている。また調査や執筆と同時に、今回の編さんにおいて基礎資料となる郷土資料館資料の整理を進めており、こちらは継続してリスト作成や写真撮影を進めている。調査や資料整理には市民にも関わっていただき、専門家だけでなく「市民と共に作る」というコンセプトを実行に移している。</p> <p>なお、調査成果のアウトプットの場としてタカハマ！まるごと宝箱事業と連携し、調査に関わった市民が成果発表する場を創出すると共に、新たな市民調査員の発掘にも努めている。</p>					
令和元年度 (予算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・編さん委員会、編集委員会の開催 ・市誌本編の執筆 ・資料整理及びリスト作成 ・市広報やHPにおける編さん状況の発信 ・『高浜市のあゆみ資料』の発刊 ・たかはま 歴史・まちづくりシンポジウムの開催 				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
	12,528 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
					26	12,502
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・市誌編さん業務委託料 1,980千円 ・市誌編さん委員会委員報酬 93千円 ・市誌編さん調査謝礼 6,899千円 ・臨時職員賃金等 2,113千円 		<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム講師謝礼 108千円 ・印刷製本費 673千円 ・消耗品費 406千円 			
平成30年度 (決算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・編さん委員会、編集委員会の開催 ・資料調査 ・資料整理及びリスト作成 ・市広報やHPにおける編さん状況の発信 ・『高浜市のあゆみ資料』の発刊 ・たかはま 歴史・まちづくりシンポジウムの開催 				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
	11,950 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
					57	11,893
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ・市誌編さん業務委託料 2,030千円 ・市誌編さん委員会委員報酬 41千円 ・市誌編さん調査謝礼 5,771千円 ・庁用器具費 415千円 		<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム講師謝礼 109千円 ・印刷製本費 564千円 ・消耗品費 971千円 ・臨時職員賃金等 1,974千円 			

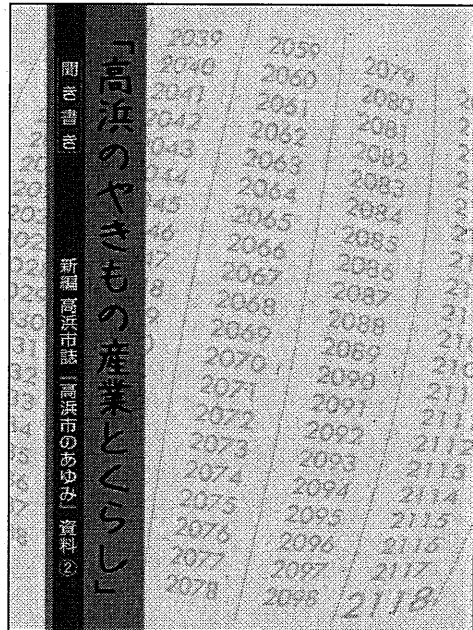
資料等（位置図等）



▲生活誌部会の原稿編集作業



▲市誌の中間発表という位置づけで開催した「たかはま 歴史まちづくりシンポジウム」



▲新編高浜市誌『高浜市のあゆみ』資料②「高浜のやきもの産業とくらし」